

加藤敏夫フェロー募集のお知らせ

この度、一般社団法人日本数学会では、東南アジア在住の若手研究者が日本の大学・研究所へ研究滞在をすることを通して、次世代の東南アジアを担う逸材を育成するとともに、日本と東南アジアの交流を促進する事を目的として東南アジア数学会の協力のもと、加藤敏夫フェローを創設し、6月11日から第一回目のフェローの募集を開始しました。つきましては東南アジア在住の優秀な若手数学者に心当たりがございました方は是非応募を勧めていただけましたら幸いです。

なお、加藤敏夫フェローの滞在費などを含む研究奨学金は故加藤敏夫氏の遺贈により創設された一般社団法人日本数学会加藤基金が充てられます。

1. フェローの概要

1-1 応募資格

- (1) 我が国と国交のある国籍を有するもの
- (2) 2019年4月1日時点で博士の学位を10年以内を取得した優秀な東南アジア在住の若手数学研究者であり、所定の様式により日本の研究者、研究機関の受け入れ承諾が得られるもの。ただし受け入れ研究者は一般社団法人日本数学会に所属し、大学・研究所に原則として常勤職として所属する研究者で研究受入を責任を持って遂行できる研究者であるとしします。

1-2 フェローの期間

2019年4月1日から2020年3月31日

1-3 採択人数、奨学金

フェローの採択人数は一人とします。600万円を限度として奨学金を充てる。これは以下の費用も含みます。

- (1) 日本への往復の渡航のための費用
- (2) 受け入れ機関の定める健康保険、生活費などの諸費用
- (3) 受け入れ機関事務執行にかかわる間接経費

2. 募集について

2-1 応募はフェロー候補者が東南アジア数学会（住所下記）宛に書類を提出する必要があります。

Application of Tosio Kato Fellowship
The SEAMS Secretariat, care of
Institute of Mathematics, University of the Philippines,
Diliman, Quezon City 1101, Philippines

なお、詳細および、募集要項につきましては web site
<http://mathsoc.jp/publicity/news20180614/kato31webj.html>
をご覧ください。

2 - 2 応募締め切り
2018 年 9 月 30 日必着

お問い合わせ先 : [query-kato-fellow\(at\)mathsoc.jp](mailto:query-kato-fellow(at)mathsoc.jp)

一般社団法人日本数学会理事長
小菌英雄